

2025年4月10日

## 心房細動に対するパルスフィールドアブレーション

### を受けられた患者様へ

当院では、心房細動に対するパルスフィールドアブレーションにかかわる臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をもとに行われるものですが、この案内をお読みになり自身がこの研究の対象にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自身の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

#### 【対象】

2024年11月から2026年3月までに当院で心房細動に対するパルスフィールドアブレーションを受けられた患者様

#### 【研究課題名】

心房細動に対するパルスフィールドアブレーションを用いた肺静脈隔離術による左房後壁への影響に関する後ろ向き観察研究

#### 【研究責任者】

群馬県立心臓血管センター 循環器内科第二部長 中村紘規

#### 【研究の目的】

肺静脈隔離術は、心房細動に対するカテーテルアブレーションの標準的な手技として広く行われています。2024年より国内に導入されたパルスフィールドアブレーションは、従来の高周波あるいは冷凍凝固を用いたアブレーションと同等の有効性と高い安全性が報告されています。心房細動の主な治療対象である肺静脈は左房後壁と隣り合っており、肺静脈隔離術に伴い左房後壁へアブレーション効果が及ぶことがあります。現在のところ、パルスフィールドアブレーションを用いた肺静脈隔離術による左房後壁への影響は明らかとなっておりません。本研究の目的は、心房細動に対するパルスフィールドアブレーションを用いた肺静脈隔離術による左房後壁への影響を明らかにすることです。

**【利用するカルテ情報、資料】**

年齢、性別、身長、体重、血液検査・心電図・超音波検査・CT検査・MRI検査の結果、併存疾患・薬物治療の内容、カテーテルアブレーション中のデータを使用します。

**【研究期間】**

研究機関の長による実施許可日から 2026 年 3 月まで

**【個人情報の取り扱い】**

登録されたデータには、お名前、住所などの個人を特定できる情報は削除し、新たにつけた番号にもとづいて解析を行います。研究の結果を学会や学術雑誌に公表する場合は、個人が特定できないような形で使用いたします。

**【問い合わせ先】**

群馬県立心臓血管センター 循環器内科

担当医師 中村紘規 電話 027-269-7455 (代表)